

オープン・イノベーションに即した知的財産戦略

相 澤 益 男

総合科学技術会議議員

知的財産戦略本部員

オープン・イノベーションが急速に進展

国際競争が激化（製品サイクルの短縮化、技術開発コストの増大）

市場がグローバル化、多様化外部リソースの利用可能性の増大

クローズド・イノベーションの制約
（グローバル化・情報化で外部リソースの利用可能性が増大）

オープン・イノベーションの進展
（内外のリソースを地球規模で活用、技術開発から事業化まで）
例：IBM, P&G, デュポン、シスコシステムズ、メルク

特許購入(M&A)・売却

技術移転・導入

共同研究・開発

標準化・パテントプール

アライアンス

オープン・イノベーションに向けて

協創・協調による国際競争の強化

- ・ オープン・イノベーション・プラットフォーム
- ・ 特に、「環境・エネルギー革新技術」の国際展開

オープン・イノベーション対応の知的財産戦略の構築

- ・ 企業における知的財産戦略・研究開発戦略・事業戦略の一体化

オープン・イノベーションを加速する総合支援体制の強化

- ・ 総合プロデュース機能
- ・ 特に、iPS細胞技術等の「革新的技術」の推進